



▲総持寺庭園位置図

総持寺は、近世初期の実務官僚で多方面に芸術的才能を發揮した、小堀遠州の生家ゆかりのある寺です。本寺は天平年間(729~749)行基によって創建されたといわれ、神照寺(新庄寺町)の学頭(僧侶の教育等を行う学務の長実済が、荒廃していた葉師堂を永享2年(1430)將軍足利義政の御教書を得て復興したと伝えられており、この時、小堀氏が堂塔の建立に尽力し、以後代々寺を支えてきたといわれています。小堀新介正次(遠州の父)の屋敷、すなわち遠州の生家(小堀氏館遺跡)はすぐ近くにあり、館跡の付近には、城館を囲っていたと思われる、堀(ばんば堀)が現存しています。総持寺文書(総持寺に伝わる文書・市指定文化財)には、土地の売買や寄進の記録にたびたび小堀氏の名前が見られます。

戦国大名の浅井氏も代々庇護を加えてきましたが、織田信長の兵火にかかり堂塔の大多数を焼失してしまいました。寛永元年(1624)に本堂、大門などが建立され、現在の寺観となりました。また、総持寺は牡丹の寺としても有名で、県指定文化財の仁王門をくぐる、境内に植えられたおおよそ1,000株の牡丹が出迎えます。見ごろは例年4月下旬から5月上旬で、多くの参拝者で賑わいます。牡丹が終わるころには芍薬が花を咲かせ、初夏の境内を彩ります。堂内には国指定文化財の木造聖観音立像、本尊の葉師如来像をはじめ、たくさんのお仏像が祀られています。庭園は池の周りを回遊して鑑賞する池泉回遊式で、客殿の北に位置し、東側の本堂の裏まで延びています。中央に東西に長く広い池を配し、池の北側を築山とします。築山の中央部には大きな立石を置き、これを庭の要とし、ここ

に滝を表現した石組を配し、枯流れが池に注ぐところに石橋を架けます。この他にも、池の各所に、意匠を異にした石橋を架け、この庭の見どころの一つとなっています。また、池には五重の層塔を建てた小さな岩島があります。市内では数少ない江戸時代前期の庭として、また小堀氏ゆかりの寺院の庭として、地域の大切な文化財です。

## ながはまの文化財

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとくあり輝いています。このコーナーでは、数ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介いたします。

### 県指定名勝 総持寺庭園(宮司町) 指定日：昭和60年3月29日指定

総持寺は、近世初期の実務官僚で多方面に芸術的才能を發揮した、小堀遠州の生家ゆかりのある寺です。本寺は天平年間(729~749)行基によって創建されたといわれ、神照寺(新庄寺町)の学頭(僧侶の教育等を行う学務の長実済が、荒廃していた葉師堂を永享2年(1430)將軍足利義政の御教書を得て復興したと伝えられており、この時、小堀氏が堂塔の建立に尽力し、以後代々寺を支えてきたといわれています。小堀新介正次(遠州の父)の屋敷、すなわち遠州の生家(小堀氏館遺跡)はすぐ近くにあり、館跡の付近には、城館を囲っていたと思われる、堀(ばんば堀)が現存しています。総持寺文書(総持寺に伝わる文書・市指定文化財)には、土地の売買や寄進の記録にたびたび小堀氏の名前が見られます。

戦国大名の浅井氏も代々庇護を加えてきましたが、織田信長の兵火にかかり堂塔の大多数を焼失してしまいました。寛永元年(1624)に本堂、大門などが建立され、現在の寺観となりました。また、総持寺は牡丹の寺としても有名で、県指定文化財の仁王門をくぐる、境内に植えられたおおよそ1,000株の牡丹が出迎えます。見ごろは例年4月下旬から5月上旬で、多くの参拝者で賑わいます。牡丹が終わるころには芍薬が花を咲かせ、初夏の境内を彩ります。堂内には国指定文化財の木造聖観音立像、本尊の葉師如来像をはじめ、たくさんのお仏像が祀られています。庭園は池の周りを回遊して鑑賞する池泉回遊式で、客殿の北に位置し、東側の本堂の裏まで延びています。中央に東西に長く広い池を配し、池の北側を築山とします。築山の中央部には大きな立石を置き、これを庭の要とし、ここ



▲総持寺庭園

# 長浜曳山まつり

## ◆支援ボランティア募集

曳山の曳き手ボランティアと渡り(役者行列)の祭礼用具の運搬ボランティアを募集します。

【応募資格】18歳以上の男性(高校生不可)

【日時】4月14日(火)、15日(水)

〔登り山〕14日(火)11時~17時

〔夕渡り〕14日(火)17時30分~21時30分

〔太刀渡り〕15日(水)6時~11時

〔朝渡り〕15日(水)6時~9時

〔本日山曳〕15日(水)8時30分~21時

〔戻り山〕15日(水)21時~24時

※上記時間はおおよその時間です。また、くじ順により時間が前後します。

【服装】

動きやすい服装(はつぴ、装束、軍手は貸与)

【応募方法】

2月28日(金)までに申込用紙に①氏名②年齢③住所④電話番号⑤ボランティア希望内容を記入し、直接または郵送、FAXで下記までお申し込みください。

または、曳山博物館ホームページの申込フォームからも応募できます。

※3月にボランティアの説明会を開催する予定です。

問・申 曳山博物館(元浜町14-8)

(☎65-3300 FAX65-3440)

## ◆「三番叟」役者募集

子ども歌舞伎の開演を祝う舞、「三番叟」の子ども役者を募集します。

【応募資格】

市内小学校に通う3~5年生の男子

【出演】

4月13日(月)~16日(木)

壱番山の曳山舞台および朝渡り、夕渡り等の行列参加

【募集人数】

1人(応募多数の場合は抽選)

※出演経験のない人優先

【その他】

衣装代等の個人負担なし

【応募方法】

2月16日(日)までに①住所②氏名③学校名④学年⑤保護者名⑥電話番号を郵送またはFAXで下記までお申し込みください。

※祭典期間および三番叟稽古の送迎は各自でお願いします。

問・申 曳山博物館(元浜町14-8)

(☎65-3300 FAX65-3440)



## 曳山まつり「観覧棧敷席」予約受付中

4月15日(水)に長濱八幡宮に設ける棧敷席の予約を、下記のとおり受け付けます。

【料金】イス席：一人 4,500円

ござ席：一人 3,500円

【受付期間】2月3日(月)~17日(月)

※電話で下記まで。申込み多数の場合と場所は抽選。

問・申 (公社)長浜観光協会(☎65-6521)

## 長浜盆梅展ライトアップをお楽しみください

2月1日(土)~3月8日(日)の土日祝日

17時~20時30分(入館は20時まで)

長浜に春を呼ぶ風物詩「長浜盆梅展」が始まりました(3月10日(火)まで)。今年もライトアップを行います。昼間とは一味違った幻想的な盆梅をご覧ください。今年も、京都造形芸術大学がプロデュースする新館の展示や、庭園での盆梅の展示など、インスタ映えするスポットがたくさん登場します。同時開催のフォトコンテストへの参加もお待ちしています。

【会場】慶雲館(港町)

【観覧料金】大人 800円

小中学生 400円

